



「ひと雨ごとに涼しくなりますね」という挨拶を今年はまだ使うことができません。9月半ば近くになっても8月と変わらず、30度を超える毎日です。暑さ疲れから体調を崩す人も多く感じます。

異常気象は神様からの警告なのでは、とつくづく思います。教皇様がおっしゃるように、私たち一人ひとりが、神から与えられた共通の家である地球を大切に、傷をいやすために、感謝の気持ちをもって、生活様式をエコロジカルに変えていく必要があります。

+++++

自主グループ

アライカプア「共に生きる会」

フィリピン、マニラのスラムで生活するお母さんと子供達の自立を応援する活動です。アライカプアとは「捧げ合う」「助け合う」の意味で、仕事に就けない貧しい人々が共に祈り、考え、働き、助け合っているカトリックの信仰共同体です。

この共同体のお母さんと子供達を作る手芸品（エプロン・ロザリオ入れ・テーブルクロス・コースター・クリスマスカード等）を浦和教会の方が窓口となって仕入れ、販売、送金して自立を支援しています。

大宮教会での販売は復活祭とクリスマスに向けての年2回を予定しています。

フィリピンとの関りは1991年のピナツボ火山噴火災害の時、当時七里にあった援助修道会の Sr.高木百代がなされた支援活動を手伝って、火山灰で作られた十字架を販売したのがきっかけでした。

その関連でマニラの著名な Sr.クリスティン・タン（故人）の提唱するアライカプアの活動を知り、Sr.高木を中心として「共に生きる会」が発足しました。手芸品の販売は、子供達に教育や食事、医療などの提供を支援するとともに、子供達が自立にも大きく貢献する重要な活動です。

皆様の温かいご支援を今後ともよろしく願いいたします。

前川



内容【活動紹介】アライカプア「共に生きる会」、ぶどうの木、こひつじ子ども会
【2023 ワールドユースデーに参加して】【コルダの会より】【ウエルカムグループ】
【信徒委員会】堅信式・駐車場利用【総務部】お願い・受付・フリーマーケット
【典礼部】香部屋奉仕者募集【サモア～主によばれて (21)】

ぶどうの木

私達「ぶどうの木」は毎週水曜日午前10時半から12時まで、マルコの部屋で次の日曜日に読まれる福音の分かち合いを、幸田和生神父様が勧めておられる「聖書の集い」のやり方に沿って行っています。

私達だけでできるか不安だった時、タイミング良く「聖書の集い」の目的と方法に出会い、実質10年近く続けることができている事に驚き、神様の計らいに感謝しています。

分かち合いは聖書の勉強ではなく、感じる事が大切です。

幸田神父様が毎週配信していらっしゃる「福音のヒント」は大きな助けとなっています。

次の日曜日の福音を読み、しばらく沈黙の後、心に響いた事を話します。他の人が話している時はメモを取らない、議論、批判、質問、知っているからと上に立って教えない、そこで聞いたことを他の場では話さない等のルールがあるので、安心して感じた事を話す事ができます。

聞く人は共感できる様、耳を傾けます。自分と違った角度からの気づきが聞けて、心が豊かになり、ミサを大切に、心待ちする様になりました。

その時わからなかった事の答えをお説教の中に見出せた時は、そうなのか、と納得し、とても嬉しくなります。

仲間との信頼関係も深まり、神様が今何を呼びかけておられるかを知る大切な場にもなっていると感じています。

興味を持たれた方、気軽にいらっしゃいませんか？お待ちしております。

徳良



What's New?

こひつじ子ども会 🐏🐏🐏.....

英語・タガログ語ミサ（毎月第一日曜日午後2時から）が7月より再開され、それに伴って、こひつじ子ども会も再開しました。ミサの時間に2階の部屋でお祈りや神様の話をしたり、ゲームや工作などを行っています。（聖体拝領のところからミサに参加します）初聖体の準備も相談があれば対応します。

5歳から12歳の子供が対象です。日本語が話せなくても参加できます。

お知り合いに外国籍のお友達がいて、教会に子供を連れていきたいと迷っていたら、ぜひ教えてあげてください。お待ちしております。

石黒



2023 ワールドユースデーに参加して

横山

私は7月25日から8月10日までの17日間、ワールドユースデー(以下、WYD)に参加するためにポルトガルへ行きました。

WYD には各大会ごとにテーマがあります。今大会のテーマは「マリアは出かけて、急いで山里に向かった」(ルカによる福音書第1章 39節)です。

私は初めての WYD 参加で、緊張と不安もありましたが楽しみな気持ちもありました。初めてのヨーロッパ、初めてのトランジット、行きから大変でした。

私は日本公式巡礼団で参加しました。札幌教区から那覇教区の人まで、日本全国からの参加者とともに15日間(時差の関係で17日間)過ごしました。



さいたま教区巡礼団

ポルトガルに着いてから、最初の数日間はコインブラでホームステイをしました。ホームステイ先では、東京教区の青年とともに過ごしました。ホームステイ先の家族は優しく、暖かく私たちを迎えてくださいました。ホストファザーは、コインブラが地元でとても地元愛に溢れており、土地のことや歴史の事など教えてくださいました。



WYD 集合写真

コインブラで過ごした後は、ファティマを経由してリスボンへ行きました。ファティマでは、WYDの巡礼者以外の人も多く、世界各地から訪れていました。

ファティマの聖母マリアの像の周辺は、厳格で静かな時間が流れていました。来る人来る人が自然と祈る姿を見て感動しました。

その後ファティマからリスボンへ移動しました。リスボンでの宿舎は、学校で寝袋を敷いて雑魚寝しました。電源タップがショートし、分散させお互い譲り合って充電し盗まれないように交代しながら見守りをしたのは今となっては良き思い出です。

ライズアップ(カテケージス)会場までは電車に乗り行きました。3日間のライズアップでは、各教会管区ごとに分かれて担当しました。1日目は東京管区、2日目は大阪管区、3日目は長崎管区です。

東京管区では、総合的な(インテグラル)エコロジーについて、大阪管区では、社会的な友情について、長崎管区では、あわれみについて。各管区ごとに司教様や青年が

話し、それについて分かち合いをしたりしました。ライズアップには、日本公式巡礼団以外にも MAGIS(イエズス会)サレジアン(サレジオ会)セルヴィエヴァンジェリー(宣教会)個人参加の方も一緒に参加しました。

教皇様歓迎式典や十字架の道行、教皇ミサにも参加しました。本大会中は班行動が基本なので、班のメンバーとともに参加しました。本大会中に教皇様を見られることが出来てとても嬉しく、1度は間近でしたので感動しました。

教皇様が通られる前は、近くにいた人みんなが「Pope Francis!」と叫んでました。とても圧倒的で日本では見られない光景でしたが一体感があり自然と声も出ていました。

本大会の最終日は野宿です。会場へ行くため 10km 弱を徒歩で行きました。人生で初めて高速道路を歩きました。会場に着くと、たくさんの方が既に到着しており、場所取りなどもしていました。野宿の会場では、一斉に寝袋やテントなどを広げ各々で過ごしていました。お手洗いにいくのにも 30 分以上必要でした。他にも会場では写真を撮ったり、缶バッジや旗、キーホルダー、国を象徴した小物などを各国の参加者同士で交換し合ったりしてました。

そして、朝は神父様による DJ から始まりました。朝からハイテンションでみんな元気になったと思います。ミサが始まり、神

聖な時間が流れていました。遂に、次の開催国の発表の時になるとドキドキが隠せませんでした。

教皇様からソウルと発表された時は「近い!」「また参加しようね!」などと班のメンバーと分かち合いました。

リスボンからポルトへ向かい、お別れの時が近くなるにつれ、不安や緊張感はいつしか無くなり、「楽しい」という気持ちや喜びに満たされ、「別れるのが寂しい」という気持ちに変わっていました。

15 日間 (17 日間) をともに過ごした日本公式巡礼団。新たな出会いや再会ができた WYD でした。



各国の旗を掲げて

長くなりましたが、WYD リスボン大会のレポートを終わりにしようと思います。今大会、派遣して下さったこと本当に感謝しております。次回は、2027 年のソウル大会です。

ここまで読んで頂きありがとうございます。

コルダの会より

コルダの会、会員による YouTube 動画「長崎キリシタン殉教地巡り 雲仙編(Part 2)」が配信されています。ぜひご覧ください。(16:09)

https://youtu.be/W4WV3nDWf1c?si=AAAnoZfr3_oO7TnNg



ウエルカムグループ仲間募集

水分補給と信者同士の交流のために、ミサ後 1 階ロビーでお茶を提供しているグループです。人手が足りず困っております。

- ・準備：午前 10:00～
- ・お茶の提供・片付け：ミサ終了後～12:30 まで

最初から最後までいられなくても、毎週参加できなくても構いません。

多くの方がお手伝いくだされば、一人の負担も少なく済みます。

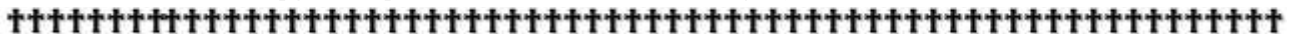
また引き続き、飲料やお菓子(賞味期限にご注意願います)の寄付や献金を受付中です。よろしく願いいたします。

ウエルカムグループ 小池



<信徒委員会・各部からのお知らせ>

【平日ミサ】毎週火～金 AM7 時小聖堂・土曜日夕方ミサはありません



<信徒委員会より>

- ・堅信式 11/5(日)午前 11:00～
司式：山野内司教様
みなでお祝いしましょう。

- ・雨天時の駐車場利用について
園庭の状態を見て使用できない時は 10:00 までに「駐車できません」の表示を出します。小聖堂前の駐車場は体の不自由な方、体調のすぐれない方優先ですので、ご協力お願いします。

<総務部より>

- ・自主グループの活動が本格化してきました。以前と同様に、使用する部屋の入口にグループ名の記載された札をかけてください。

- ・受付当番がいる時間は

毎週金曜日 10:30～13:00

毎週日曜日ミサ後 13:00 まで

- ・ミサ後フリーマーケット開催予定
10/29(日) (詳細は後日)

<典礼部より>

- ・香部屋の奉仕をしてくれる方募集
ミサの前の準備や、ミサ後の後片付けを手伝って下さる方を募集しています。
ご希望の方は典礼部 杉本または石黒まで。

† サモア～主に呼ばれて (21) †

パースに移った後も、ホームステイをしました。語学学校から紹介されたお宅だったため、少し高く1週間で110ドル、前の約2倍になりました。

初日はホストファミリーが終業時間に語学学校に迎えに来てくれ、車で帰る途中に、近くのバス停を教えてくださいました。翌日からは毎日バスで通学です。当時は次のバス停の案内がないし、道路にある停留所にもバス停の名前が書いていないので、降りそこねないようにバスに乗っている間は安心できませんでした。

日本に一時帰国している間に荷物を預かってもらった家に行くときも、「バラがきれいな公園の次のバス停」と記憶しておいて、その公園が見えるまでキョロキョロしていました。

パースでお世話になったホストファミリーは、グラハムさんという家族です。お子さんは4人いるとのことでしたが、もう全員成人していて、ご夫婦だけで生活していました。パースのダウンタウンからおよそ20km北にある郊外の住宅地に住んでいます。お宅は平屋ですが、間取りは広いし、家の前は地元住民の車しか通らないような道とはいえ、道幅もあり、車道と歩道の間には1m幅で芝生が植えられている素敵な住宅地でした。

ダウンタウンからはバスを2本乗り継ぎます。1本目はハイウェイ沿いにあるバスターミナルまでのバスで、わりと頻繁に出ています。そこからは方向別に回っていくバスです。

パースのバスは、料金設定も独特でダウンタウンからの距離でゾーンが決まります。そのゾーンによってバス料金が決まるシステムです。ですので、乗るときに料金を払うとチケットをもらえ、2時間の有効時間内だったら、他のバスに乗っても再度お金を払う必要はありません。

また、ダウンタウンでは無料のバスが4系統あり、ダウンタウン内は無料でバスに乗れるので、地元の人たちや観光客も助かります。バスの大きさも2種類あり、郊外のバスターミナルから走る普通サ

イズのバスと、ハイウェイを走ってダウンタウンと郊外のバスターミナルを結ぶ大きなバスです。大きなバスは普通のバスの後部を切ったようなところで連結されたようなバスで、普通のバスの1.5倍くらい乗客を乗せることができます。

バスで面白かったのは、ベビーカーの乗せ方です。バス停にベビーカーとお父さんやお母さんがいると、バス停にバスを止めた運転手さんはバスを降りていき、そのベビーカーをバスの後ろ（バスの外です）にあるベビーカーをひっかける金具にひっかけて、ぶら下げるようにしてバスを走らせます。

平日は朝7時くらいに家を出て、バス停まで歩いていき郊外のバスターミナルに向かうバスに乗ります。だいたい15分くらいだったと思います。郊外のバスターミナルでダウンタウンに向かうバスに乗り換えますが、いろいろなところから来るバスから、みんなそのバスをめぐっていくので長蛇の列になります。来たバスに乗ればよいのですが、座れるか座れないかが重要なので、満員のときは次のバスを待ちます。車通勤の人も多いので、ダウンタウンの5kmくらい手前からは、毎日渋滞します。帰りは20分くらいで着くのですが、朝は1時間くらいかかっていたと思います。ですから、座れるか座れないかは重要なわけです。



ホームステイ先に似た住宅（実物の写真ではありません）

見沼区 斉藤

🍀 おおみや教会通信はカトリック大宮教会のHP (<https://catholic-omiya.net>) でご覧になれます。

* ご意見や投稿（本などの感想、特集してほしいことなど）を募集しています。

FAX か郵送で受け付けています

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目350 FAX 048-641-2724

カトリック大宮教会 広報部宛

* おおみや教会通信 次号の発行は 10/22 予定（原稿締め切り：10/8）

